

事業所名	グループホーム なでしこ
ユニット名	あい

アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)		1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)		1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ全ての家族と
			2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)		1, ほぼ毎日のように
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
			2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)		1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所内の、玄関・フロアー・事務所の目につく所に掲示し、理念の共有と実践につなげている。	開設当初から「自立への働きかけ」「あいとまことをもってお客様と接する」「地域社会に参加する」を理念とし、玄関、居間、事務室に掲示しています。職員は日頃の介護・介助の中で理念を意識して取り組んでいます。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域のお祭りや防災訓練等に参加したり、散歩時には近隣の住民の方にお花を頂いたり、挨拶し、お互いの体調を気遣うなど、交流できている。	町内会に加入し、地域の夏祭り、防災訓練、敬老会、道路清掃に参加しています。地元の中学校の体験学習を受け入れ、散歩や買い物時には地域の方と挨拶を交わし、ふれあいを持ちながら暮らしています。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	地域のお祭りや防災訓練等に参加したり、会社でのふれあい祭りや、散歩などを通して、地域の方と関わり、活かしている。	/	/
4	3	運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	頂いた評価や意見はサービスの向上に活かされている。特に防災についての協力体制について、災害時の名簿に記載していただいたり、反対に、災害時には事業所の庭を開放していくなど、協力体制が整ってきている。	運営推進会議は隣接する同一法人のグループホームの合同で開催しています。会議では事業所の運営状況や活動内容を報告後、出席者と意見交換を行っています。平成22年3月以降は実施していません。	運営推進会議は概ね2か月に1回開催することが望まれます。会議では外部評価・情報公表制度の受審状況、防災訓練における地域の方々の協力要請なども議題に入れ話し合いが期待されます。
5	4	市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	横浜市のグループホーム連絡会、泉区戸塚区のブロック会、泉区の連絡会の研修に参加したり、運営推進会議や介護保険の認定調査の立会いをしたりなど、様々な場面で協力関係を築くよう取り組んでいる。	管理者は区役所の高齢支援課へ運営や実情を報告し、助言や指導を仰いでいます。介護保険の更新手続きに出向くこともあります。横浜市グループホーム連絡協議会などに出席し意見交換を行い、職員の交換研修も行っています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	危険性を考慮しながらではあるが、身体拘束、施錠共に廃止出来ている。	職員には身体拘束マニュアルを活用し、拘束をしないケアの正しい理解に努めています。 玄関や居室は施錠せず自由な暮らしを支援しています。2階フロアの出入り口は階段の近くでもあり簡単な施錠をしています。	2階ユニットのフロア出入り口についても目配り・見守りの工夫の話し合いをし、鍵をかけないケアに取り組む検討が期待されます。
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている	市町村や連絡会等の研修、社内勉強会への参加、報告書による事業所内での情報の共有にて学ぶ機会を作っている。虐待が行われないようスタッフ間でのコミュニケーションを図り、防止に努めている。		
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	学ぶ機会があっても、簡単に理解のできるものではない為、正しい理解ができていないかの判断は難しい。活用されている入居者もいるので、理解が深められるよう学ぶ機会を作っていきたいところ。		
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約の際には、書類を一緒に目を通していただけ、不明点が無いか、不安な事はないか確認を行い、入居前に少しでも不安が無く入居できるようにしている。		
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回の家族会を設けているが、当事業所はご家族が少ない為、面会に来た時に近況の報告等行い、個別での話の場を設けている。利用者からの要望については、日常会話から汲み取り、反映させている。	苦情や要望の担当窓口は重要事項説明書に明記し、契約時に説明をしています。 年2回の家族会や家族の来訪時に声かけし、生活状況を話し、意見や要望を聞いて運営に反映しています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のユニット会議ではもちろんのこと、毎日の申し送りでも意見を聞き、その日のうちに取り組むなど、迅速に対応できる流れができています。	管理者はユニット会議や申し送り時、日常の業務の中で職員の要望・意見を聞き業務に反映しています。法人本部の統括者は、管理者からの提案や要望を事業に反映し、業務上の不明点などはパソコンのメール交換で指導をしています。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の勤務の希望や意見を聞き働きやすい環境を作る事に努めている。		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外での研修のお知らせファイルを準備し全職員が研修の内容を知っていたできるようにしている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市のグループホーム連絡会、泉区戸塚区のブロック会や泉区の連絡会、交換研修を行い交流をはかり、サービスの質の向上に努めている		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	団体生活の中でも個々の生活を大事にし、個別に対応する事で、何気ない一言からのその人の希望をくみ取れるよう、個別対応のコミュニケーションにも努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりにも努めている	家族の生活環境もお話して頂ける範囲でお聞かせて頂き、要望と生活環境も考慮し、負担を掛け過ぎないように配慮している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の望む生活がどんな生活か見極め、GH以外の生活を強く望む場合には本人の望んだ生活やサービスを利用できるように努めている。		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の出来る事はして頂く事が基本だが、スタッフもそこで生活する一員と考え、なんでも一緒に行う事で、スタッフと利用者の垣根を壊し、介護される側の一方の立場に置かないような関係が出来ている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の生活環境や、過去の出来事もお話して頂ける範囲でお聞かせて頂き、生活環境も考慮し、負担を掛け過ぎないように配慮しながら、ご家族にも協力して頂いている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遠方に住む御兄弟やご友人と文通をしたり、毎週の礼拝の参加も、ボランティアの方を通じて行ったり、昔から読んでいる新聞の購読などもしている。昔行った近隣の観光地などに行ったりと支援している。	職員は利用者の行きつけの理髪店や家族の墓参にも同行することがあります。時には利用者の友人が来訪し、喫茶店で歓談したり、手紙の返信をポストへ投函の支援をしています。	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	人と人との関わり合いなので、強制ではない為、ある程度までしか介入できないが、共同生活をあまり望まない方や、関係の良くない方同士がトラブルにならないように努めている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所となっても、精算や荷物の整理等も含め、必要が無いと双方が想う段階まで連絡を取るよう努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	何気ない日常の会話から、食べたい物や行きたい場所、欲しい物など汲み取り、可能な場合は、当日や翌日には早急に対応するよう努めている。困難な場合は、表情や体調、ちょっとした反応を観て対応、検討している。	職員は日常の会話の中から、利用者の意向や希望を汲みとるように努めています。意向を自分から伝えにくい方には、散歩の途中、畑の農作物の成育を見ながら、ゆったりとした気分で話しかけを聞いて把握に努めています。	
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	身寄りのない方も居る為、情報には限界があるが、出来る限り、入居の段階で収集できるよう努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に変化し続ける心身の状態の把握と、気分の浮き沈みの予兆等も見逃さないよう、また、能力も日々変化するため、毎日の申し送り等で情報の共有と把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人とユニット内のスタッフとで、日々の生活から問題や課題点を抽出し、現状に即した対応、ケアができるよう努めて作成している。</p>	<p>入所時のアセスメントやADL記録を基にして、利用者・家族の要望と主治医・看護師の意見を入れ、居室担当者を中心に、カンファレンスをして作成しています。</p> <p>通常は3か月毎、大きな変動があった時にも随時見直しを行っています。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別のケース記録や申し送りノートに日々の健康状態、暮らしの様子、本人の会話を記録し職員間で情報の共有を図り介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者様から希望があった場合はカンファレンスを行っている。教会に参拝したいという入居者様から希望があった際に近くの教会を探し定期的に参拝できるよう計画をたてました。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>必要に応じてボランティアの方に協力して頂いている。地域ケアプラザの図書館を利用している利用者がいる。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期往診以外でも、本人の体調に応じてや希望があれば、往診や受診、診察等医療を受ける事が出来る。</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医による医療を継続して受診できるように支援しています。</p> <p>医療情報は受診結果を個人別に記録し、職員間で情報の共有に努めています。</p>	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問時に、変化のあった方は連携ノートを通じてや、口頭で相談連絡している。急ぎの場合は電話連絡にて相談し、指示を仰いでいる。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関もある為、連携は取りやすくなっている。また、なるべく早期に退院出来るよう協力している。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で、ご家族と主治医と看取りの指針について話し合い、できることについて双方の話し合いの中、状況に応じて対応策を都度考えていき、チームでの支援に努めている	利用者・家族には重度化した場合の対応について説明し、同意を得ています。ターミナルケアはできるだけ行う方針であり、急変時には主治医・看護師、家族・職員が、利用者にとって最善の方法を話し合うこの方針は関係者間で共有しています。	
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内での勉強会やマニュアルを参照したり、横浜市や消防等の外部の研修に参加したり、知識をつけている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難誘導は年2回行っている。地域で支え合っていこうと方向もあり、災害時の名簿に事業所の利用者も載せていただいたり、反対に災害時には、事業所も協力し、庭を開放し、一時避難所としての活用していただくなどの話もある。	防災・避難訓練は同一法人の隣接するグループホームと年2回実施しています。緊急連絡網は事務室に常備し、対応する体制ができています。防災用のキャリーバックに最小限度の必需品を用意しています。	防災・避難訓練は消防署の協力を得て、地域との協力体制を働きかけ、事業所単独でも実施することが期待されまます。非常食、飲料水、寒さをしのげる物品も準備が大切と思われまます。

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介護者が優位に立っての介護は行わない用スタッフ間で声かけ合い努めている。プライバシーに係るは話を入居者の前で行わないなど注意している。	職員は入職時に守秘義務に関する誓約書を提出し、日頃よりプライバシーを損ねることの無いように言葉づかいに配慮しています。個人情報に関する書類は、施錠できる書庫に保管しています。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、言っても無駄と思われる用早急な対応をする事で、何でも言えるような雰囲気作りに努めている。また、こちらから何気ない会話の中から聞き出せるような会話を心がけている。	/	/
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行事を計画した際など、参加したくない方も居るかもしれないが、催した時に限っては希望やペースに沿えない時もある。また、庭へ洗濯を干しに出たり、畑へ出たり、買い物等、その人の今に対応できるよう支援している	/	/
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人が選らんだ物を着たり、買ったりできるよう、支援している。選択の困難な方については、常識の範囲内で、トータルコーディネートし、常に身だしなみが維持できるよう支援している。	/	/
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみになるよう、食べたい物を食べられるようにしている。レストラン風の音に食事に行ったり、配食があったり、ウナギや刺身、季節の野菜や果物も取り入れている。	利用者は職員と一緒に野菜の皮むき、もやしひげとりの下ごしらえ、配膳、下膳をしています。職員も同じ食卓で食事介助をさりげなくしながら食事をしています。誕生会は利用者の好きなメニューと手作りのケーキを提供しています。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分等毎日記録に残し、その人に合った摂取方法や介助を行い、支援している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>声かけや介助等行っているが、強制的に行う事は出来ない為、一部の方については毎食後とはいかないときもある。また、毎週歯科往診にてケアや治療をして頂いている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>トイレになるべく座っていただくようにしている。その為、トイレでの排泄も行えている。</p>	<p>利用者の排泄チェック表で排泄リズムの把握に努め、声かけし、トイレ誘導を支援しています。筋力が弱い方には便座に座るまで確認し、便秘・下痢の体調変化には食事に配慮しています。夜間はリハビリパンツの着用やトイレ誘導の支援しています。</p>	
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘になりやすい方については、なるべく寒天や牛乳、ヨーグルトの食品を用いて対応、内服薬や座薬を用いても早めに対応できるように取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>気分や体調によって変動するので、基本的には、危険が及ばない限り、いつでも入浴可能としている。また、ゆず湯や菖蒲湯、入浴剤を入れるなどし、変化の無い入浴にも変化をつけて楽しんで頂いている。</p>	<p>入浴は2日に1回を原則とし、体調によりシャワー浴、清拭をしています。入浴を拒む方には無理強いせず、時間をおいて、入浴の心地よさなどを話して勧めています。退院間もない方の場合には、運営法人の訪問入浴車による入浴も可能です。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個室な為、いつでも休みたい時には居室にて休んで頂いている。フロアのソファでも休んでいる事が多い。夜間はなるべく静かに過ごせるよう心がけている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	新たに処方された痛み止め、風邪薬に関して、どんな薬でどんな効果が出るかを知り、変化を観察できるよう努めている。		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備や食器洗い、食器拭き、洗濯物干し、畳み、掃除、新聞取り等、入居者様本人のできることに合わせて支援し、植物や畑の野菜の世話やカブトムシの飼育、ドライブや毎月の行事等をしている。		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の生活での余暇活動に力を入れている。ボランティアの方と毎週教会に礼拝に行ったり、友人が来た際には向かいの喫茶店に行ったり、買い物等、分転換としてだけでなく、当たり前以外に出歩けるよう支援している。	利用者はその日の天候や体調、希望に応じて、季節ごとの散歩コースがあります。野菜や草花を見たり、商店の買い物に車椅子の方も出掛けています。天候や体調により敷地内の芝生で外気浴も取り入れています。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員が付き添い、可能な範囲内で使用できるよう支援している。また、希望時にはいつでも買い物に行ける様支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	遠方に住む御兄弟やご友人と文通をしたり、毎週の礼拝の参加も、ボランティアの方を通じて行ったり、息子さんにヘア油の購入の依頼の電話や、兄弟への電話をしたり、希望あれば随時対応している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎の行事や風景の写真を掲示し、季節感を味わって頂けるようにしたり、居室やフロアの温度調節も行い、快適に過ごせるよう支援している。	共用空間はゆったりとしており、文字の大きな手作りカレンダーがあり、テレビコーナーにはソファ、テーブルを置きくつろいでいます。1Fにはイベントの写真、切り絵の作品を飾り、2Fには利用者の習字を飾り、居心地よく暮らしています。	
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室にて過ごす方も多いため、一人でフロアのソファやテーブル席にてTVを見たり過ごしている。その際に、様子に応じてはあまり声を掛けないよう配慮している。ユニット間での行き来もしたりし、交友関係が続くようにもしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は、危険が無い限り好きなようにコーディネートして頂いている。園芸の好きな方は鉢植え等置かれたり、仏壇を置いたり等自由にして頂いている。毎月のカレンダーを自分で壁に作成している方もいる。	居室は使い慣れた整理ダンスを置き、利用者の絵や家族の写真、人形を飾り、仏壇や盆栽、草花の鉢を置いています。居室の防災用カーテンの色は好みの色を選び、壁も淡い色調で温かい感じの色で、安らぎを感じます。	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	内部のトイレや廊下、浴室などには手すり、名札が設置されている、普段使う食器も出し入れがしやすい位置に配置し、自立した生活が送れるよう工夫している。		

事業所名	グループホーム なでしこ
ユニット名	まこと

アウトカム項目	
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23,24,25)	1, ほぼ全ての利用者の
	2, 利用者の2/3くらいの
	3. 利用者の1/3くらいの
	4. ほとんど掴んでいない
57 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18,38)	1, 毎日ある
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまにある
	4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36,37)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30,31)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ全ての家族と
	2, 家族の2/3くらいと
	3. 家族の1/3くらいと
	4. ほとんどできていない
64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9,10,19)	1, ほぼ毎日のように
	2, 数日に1回程度ある
	3. たまに
	4. ほとんどない
65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	1, 大いに増えている
	2, 少しずつ増えている
	3. あまり増えていない
	4. 全くいない
66 職員は、活き活きと働けている。 (参考項目：11,12)	1, ほぼ全ての職員が
	2, 職員の2/3くらいが
	3. 職員の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての利用者が
	2, 利用者の2/3くらいが
	3. 利用者の1/3くらいが
	4. ほとんどいない
68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	1, ほぼ全ての家族等が
	2, 家族等の2/3くらいが
	3. 家族等の1/3くらいが
	4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
理念に基づく運営					
1	1	<p>理念の共有と実践</p> <p>地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている</p>	<p>事業所内の、玄関・フロアー・事務所の目につく所に掲示し、理念の共有と実践につなげている</p>		
2	2	<p>事業所と地域とのつきあい</p> <p>利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している</p>	<p>地域のお祭りや防災訓練等に参加したり、散歩時には近隣の住民の方にお花を頂いたり、挨拶し、お互いの体調を気遣うなど、交流できている</p>		
3		<p>事業所の力を活かした地域貢献</p> <p>事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている</p>	<p>地域のお祭りや防災訓練等に参加したり、会社でのふれあい祭りや、散歩などを通して、地域の方と関わり、活かしている。</p>		
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>頂いた評価や意見はサービスの向上に活かされている。特に防災についての協力体制について、災害時の名簿に載せていただいたり、反対に、災害時には事業所の庭を開放していくなど、協力体制が整ってきている。</p>		
5	4	<p>市町村との連携</p> <p>市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる</p>	<p>横浜市のグループホーム連絡会、泉区戸塚区のブロック会、泉区の連絡会の研修に参加したり、運営推進会議や介護保険の認定調査の立会いをしたりなど、様々な場面で協力関係を築くよう取り組んでいる。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	危険性を考慮しながらではあるが、身体拘束、施錠共に廃止出来ている。		
7		<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過されることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	市町村や連絡会等の研修、社内勉強会への参加、報告書による事業所内での情報の共有にて学ぶ機会を作っている。虐待が行われないようスタッフ間でのコミュニケーションを図り、防止に努めている。		
8		<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	学ぶ機会があっても、簡単に理解のできるものではない為、正しい理解ができていないかの判断は難しい。活用されている入居者もいるので、理解が深められるよう学ぶ機会を作っていきたいところ。		
9		<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	契約の際には、書類を一緒に目を通していただき、不明点が無いか、不安な事はないか確認を行い、入居前に少しでも不安が無く入居できるようにしている。		
10	6	<p>運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	年2回の家族会を設けているが、当事業所はご家族が少ない為、面会に来た時に近況の報告等を行い、個別での話の場を設けている。利用者からの要望については、日常会話から汲み取り、反映させている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月のユニット会議ではもちろんのこと、毎日の申し送りでも意見を聞き、その日のうちに取り組むなど、迅速に対応できる流れができています。		
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個々の勤務の希望や意見を聞き働きやすい環境を作る事に努めている		
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	社内外での研修のお知らせファイルを準備し全職員が研修の内容を知っていたできるようにしている。		
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	横浜市のグループホーム連絡会、泉区戸塚区のブロック会や泉区の連絡会、交換研修を行い交流をはかり、サービスの質の向上に努めている		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	団体生活の中でも個々の生活を大事にし、個別に対応する事で、何気ない一言からのその人の希望をくみ取れるよう、個別対応のコミュニケーションにも努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりにも努めている	家族の生活環境もお話して頂ける範囲でお聞かせて頂き、要望と生活環境も考慮し、負担を掛け過ぎないように配慮している。		
17		初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	本人の望む生活がどんな生活か見極め、GH以外の生活を強く望む場合には本人の望んだ生活やサービスを利用できるように努めている		
18		本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の出来る事はして頂く事が基本だが、スタッフもそこで生活する一員と考え、なんでも一緒に行う事で、スタッフと利用者の垣根を壊し、介護される側の一方の立場に置かないような関係が出来ている。		
19		本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	家族の生活環境や、過去の出来事もお話して頂ける範囲でお聞かせて頂き、生活環境も考慮し、負担を掛け過ぎないように配慮しながら、ご家族にも協力して頂いている。		
20	8	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	遠方に住む御兄弟やご友人と文通をしたり、毎週の礼拝の参加も、ボランティアの方を通じて行ったり、昔から読んでいる新聞の購読などもしている。昔行った近隣の観光地などに行ったりと支援している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	人と人との関わり合いなので、強制ではない為、ある程度までしか介入できないが、共同生活をあまり望まない方や、関係の良くない方同士がトラブルにならないように努めている。		
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所となっても、精算や荷物の整理等も含め、必要が無いと双方が想う段階まで連絡を取るよう努めている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	何気ない日常の会話から、食べたい物や行きたい場所、欲しい物など汲み取り、可能な場合は、当日や翌日には早急に対応するよう努めている。困難な場合は、表情や体調、チョットした反応を観て対応、検討している。		
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	身寄りのない方も居る為、情報には限界があるが、出来る限り、入居の段階で収集できるよう努めている。		
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	常に変化し続ける心身の状態の把握と、気分の浮き沈みの予兆等も見逃さないよう、また、能力も日々変化するため、毎日の申し送り等で情報の共有と把握に努めている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>本人とユニット内のスタッフとで、の日々の生活から問題や課題点を抽出し、現状に即した対応、ケアができるよう努めて作成している。</p>		
27		<p>個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>個別のケース記録や申し送りノートに日々の健康状態、暮らしの様子、本人の会話を記録し職員間で情報の共有を図り介護計画の見直しに生かしている。</p>		
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>入居者様から希望があった場合はカンファレンスを行っている。教会に参拝したいという入居者様から希望があった際に近くの教会を探し定期的に参拝できるよう計画をたてました。</p>		
29		<p>地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>必要に応じてボランティアの方に協力して頂いている。地域ケアプラザの図書館を利用している利用者がいる。</p>		
30	11	<p>かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>定期往診以外でも、本人の体調に応じてや希望があれば、往診や受診、診察等医療を受ける事が出来る。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	毎週の訪問時に、変化のあった方は連携ノートを通じてや、口頭で相談連絡している。急ぎの場合は電話連絡にて相談し、指示を仰いでいる。		
32		入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関もある為、連携は取りやすくなっている。また、なるべく早期に退院出来るよう協力している。		
33	12	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	早い段階で、ご家族と主治医と看取りの指針について話し合い、できることについて双方の話し合いの中、状況に応じて対応策を都度考えていき、チームでの支援に努めている		
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	社内での勉強会やマニュアルを参照したり、横浜市や消防等の外部の研修に参加したり、知識をつけている。		
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難誘導は年2回行っている。地域で支え合っていこうと方向もあり、災害時の名簿に事業所の利用者も載せていただいたり、反対に災害時には、事業所も協力し、庭を開放し、一時避難所としての活用していただくなどの話もある。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	介護者が優位に立っての介護は行わない用スタッフ間で声かけ合い努めている。プライバシーに係るは話を入居者の前で行わないなど注意している。		
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、言っても無駄と思われない用早急な対応をする事で、何でも言えるような雰囲気作りに努めている。また、こちらから何気ない会話の中から聞き出せるような会話を心がけている。		
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	行事を計画した際など、参加したくない方も居るかもしれないが、催した時に限っては希望やペースに沿えない時もある。また、庭へ洗濯を干しに出たり、畑へ出たり、買い物等、その人の今に対応できるよう支援している		
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	本人が選らんだ物を着たり、買ったりできるよう、支援している。選択の困難な方については、常識の範囲内で、トータルコーディネートし、常に身だしなみが維持できるよう支援している。		
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事が楽しみになるよう、食べたい物を食べられるようにしている。レストラン風の音に食事に行ったり、配食があったり、ウナギや刺身、季節の野菜や果物も取り入れている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事や水分等毎日記録に残し、その人に合った摂取方法や介助を行い、支援している。</p>		
42		<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>声かけや介助等行っているが、強制的に行う事は出来ない為、一部の方については毎食後とはいかないときもある。また、毎週歯科往診にてケアや治療をして頂いている。</p>		
43	16	<p>排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>トイレになるべく座っていただくようにしている。その為、トイレでの排泄も行えている。</p>		
44		<p>便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる</p>	<p>便秘になりやすい方については、なるべく寒天や牛乳、ヨーグルトの食品を用いて対応、内服薬や座薬を用いても早めに対応できるように取り組んでいる。</p>		
45	17	<p>入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている</p>	<p>気分や体調によって変動するので、基本的には、危険が及ばない限り、いつでも入浴可能としている。また、ゆず湯や菖蒲湯、入浴剤を入れるなどし、変化の無い入浴にも変化をつけて楽しんで頂いている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	個室な為、いつでも休みたい時には居室にて休んで頂いている。フロアのソファでも休んでいる事が多い。夜間はなるべく静かに過ごせるよう心がけている。		
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	新たに処方された痛み止め、風邪薬に関して、どんな薬でどんな効果が出るかを知り、変化を観察できるよう努めている		
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事の準備や食器洗い、食器拭き、洗濯物干し、畳み、掃除、新聞取り等、入居者様本人のできることに合わせて支援し、植物や畑の野菜の世話やカブトムシの飼育、ドライブや毎月の行事等をしている		
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	日々の生活での余暇活動に力を入れている。ボランティアの方と毎週教会に礼拝に行ったり、友人が来た際には向かいの喫茶店に行ったり、買い物等、分転換としてだけでなく、当たり前に出出できるよう支援している。		
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	職員が付き添い、可能な範囲内で使用できるよう支援している。また、希望時にはいつでも買い物に行ける様支援している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	遠方に住む御兄弟やご友人と文通をしたり、毎週の礼拝の参加も、ボランティアの方を通じて行ったり、息子さんにヘア油の購入の依頼の電話や、兄弟への電話をしたり、希望あれば随時対応している。		
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節毎の行事や風景の写真を掲示し、季節感を味わって頂けるようにしたり、居室やフロアの温度調節も行い、快適に過ごせるよう支援している。		
53		共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	居室にて過ごす方も多いため、一人でフロアのソファやテーブル席にてTVを見たり過ごしている。その際に、様子に応じてはあまり声を掛けないよう配慮している。ユニット間での行き来もしたりし、交友関係が続くようにもしている。		
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室内は、危険が無い限り好きなようにコーディネートして頂いている。園芸の好きな方は鉢植え等置かれたり、仏壇を置いたり等自由にして頂いている。毎月のカレンダーを自分で壁に作成している方もいる。		
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	内部のトイレや廊下、浴室などには手すり、名札が設置されている、普段使う食器も出し入れがしやすい位置に配置し、自立した生活が送れるよう工夫している。		

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	運営推進会議の開催回数が少ない事	規定通り、2ヵ月に1回の開催をする	自治会長や、ケアプラの方と提携をとり、少ない人員でも、まず開催し、少しずつ関わりを広めていく。	6ヶ月
2	13	消防署の指導の下の防災訓練の開催	地域住民参加型の夜間避難訓練を行う	消防署の予防課と日時についての調整を行い、近隣の方の参加を呼び掛ける。	2ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。